



3月・4月行事日程一覧

3月5日(土)【ぶら探訪 37】(要申込)
「尾道対岸向島兼吉周辺を歩く」

3月13日(日)【バス例会】(要申込)
「雪舟ゆかりの地益田に七尾城を訪ねる」

3月20日(日)【測量調査】(要申込)
山手銀山城測量調査 12

3月26日(土)【青春きつぷの旅】(要申込)
「四国丸亀城と善通寺」

3月27日(日)【分布調査】(要申込)
中世石造物調査 29

4月2日(土)【ぶら探訪 38】(要申込)
「神辺宿を歩こう」

4月2日(土)【お花見】(要申込)
「お花見 in 神辺黄葉山城址本丸」

4月10日(日)【バス例会】(要申込)
「神の國「神石」に古のロマンを訪ねて」

4月23日(土)【分布調査】(要申込)
中世石造物調査 30

◎4月の山手銀山城測量調査は都合によりお休みします。

3月12日(土)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
3月19日(土)【中世史部会】「中世を読む」
3月25日(金)【古文書講座】「古文書入門」
3月26日(土)【古代史部会】「古墳講座」
4月9日(土)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
4月16日(土)【中世史部会】「中世を読む」
4月21日(木)【古文書講座】「古文書入門」
4月23日(土)【古代史部会】「古墳講座」

◎4月の「古文書入門」は第3木曜日です。
お間違えなきようお願いします。

事務局便り

3月・4月も行事もりたくさんです！今年の(平成28年)年会費をまだ振り込んでない方はお早めにお問い合わせ致します。行事案内1月号に振込用紙を同封しております。直接会にお持ちいただいても結構です。よろしくお願い申し上げます。

2016(平成28)
行事案内
3月号

備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。
(会則第1章第2条より)



行事参加のお申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。

- ◎公式サイトに参加申込フォーム
「<http://bingo-history.net>」
- ◎事務局へメール
「info@bingo-history.net」
- ◎田口会長宅へ電話
[084-953-6157]

〔備陽史探訪の会事務局〕
〒720-0824
広島県福山市多治米町5-19-8
TEL&FAX 084-953-6157
E-mail info@bingo-history.net

公式サイト
<http://bingo-history.net>

3月5日(土)

ぶら探訪 37

尾道 対岸 向島兼吉周辺を歩く

弥生三月ともなれば海の色が鮮やかになり潮の香りや対岸から見る尾道市外の風景、民家の薨や寺の塔、そして尾道三山の緑と風と波の匂いなどにも魅せられるかもしれません。これぞ箱庭的古き街の尾道が「日本遺産」になったのも納得できます。

今回は向島町(旧向島西村)の兼吉地域をのんびり歩きます。

【集 合】 午前9時30分

しまなみ交流館前 ※雨天決行
(兼吉渡船からフェリーで対岸へ・
フェリー代(大人1人片道110円各自負担)

【参加費】 100円(会員) 300円(一般)

【募集数】 30名程度

【講 師】 岡田宏一郎(近世近代史部会幹事)

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。

※解散は尾道駅前(12時30分頃の予定)

【見学地・コース】

駅から海岸通りを歩き兼吉渡船→フェリー(110円各自負担)→ロケセットの建物「待合所」→「ろ」の建物→文殊菩薩の説明板と建物→竜王山(兼吉の丘)→尾道水道の風景→地蔵堂と井戸→兼吉の町歩き→向島捕虜収容所(向島紡績後)→向東町と向島町の境界の入江(東西橋)→亀山八幡神社→日清・日露戦役などの記念碑→除虫菊神社→御綱石→渡船→フェリー(110円各自負担)→尾道駅



兼吉の丘中腹から望む尾道水道。尾道の対岸・向島の小高い丘で「兼吉の丘」と呼ばれています。

3月20日(日)

測量調査

山手銀山城測量調査 12

山手銀山城の測量調査が始まります。測量してみたい方、見学だけの方、初めての方の参加も歓迎です!

【集 合】 午前9時

里山広場(弘法の水の南側)

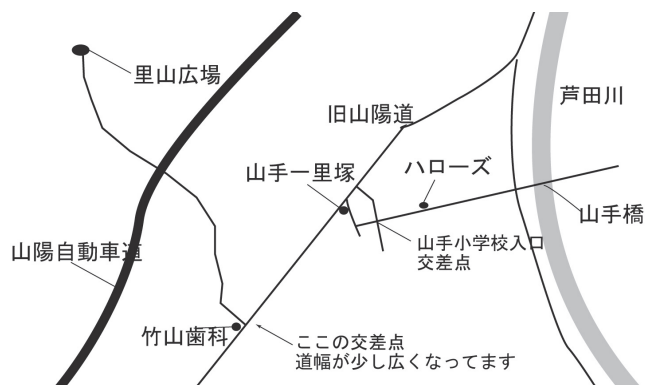
要
申込

【その他】

※午後4時頃解散予定。

※お弁当・飲み物・筆記用具を持参してください。

※雨天の場合は中止します。



3月27日(日)

分布調査

中世石造物調査 29

第29回目は、新市町の北部を調査します。事前の新市町における所在確認や調査カード作成をお願いします。

【集 合】 午後1時30分

新市支所駐車場

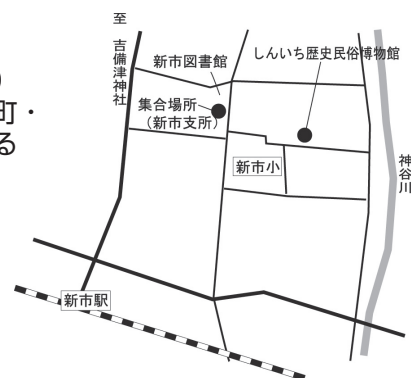
(新市町大字新市1061番地1)

要
申込

【その他】

※雨天の場合は中止し、後日実施。実施可能かどうか、微妙な天気の際は、田口会長宅へ電話での確認をお願いします。

※なお、
4月23日(土)
は神島町・佐波町・
瀬戸町で実施する
予定です。



3 月 13 日(日)

バス例会

要
申込

雪舟ゆかりの地「益田」に七尾城を訪ねる

【集 合】 午前 6 時 50 分

J R 福山駅北口観光バス乗り場

【参加費】 6,800 円 (会員) 7,300 円 (一般)
(昼食・入館料込み)

【募集数】 45 名

【講 師】 原田 寛雄 (副会長)

【その他】

※昼食付きです。

※帰着は福山駅北口に午後 7 時頃の予定。

昼食付

山陰の要衝 益田。鎌倉時代 (1192 年) に益田兼高が益田城 (七尾城) を築いて以来、約 400 年、石見の中心地として栄えてきました。

また、益田氏の招きにより雪舟は晩年を益田で過ごしており、数々のゆかりの品が残されています。

石見の雄・益田氏と世界十大文化人に選ばれた雪舟の足跡を益田市に辿ります。

申込はお急ぎ下さい

【主な見学地】

◎雪舟の郷記念館

雪舟終焉地に建つ記念館は雪舟廟大喜庵に隣接し、雪舟と益田の歴史を展示。

◎大喜庵・多根兼政の墓・小丸山古墳

全長 52m の前方後円墳。周囲には濠と堤がめぐり、益田平野を一望できる山頂に位置し、墳頂からは日本海が臨める。築造当時の姿に復元。

◎萬福寺

穏静簡古な造りの鎌倉時代の様式を持つ本堂は国の重要文化財、雪舟庭園は国の史跡・名勝に指定。

◎七尾城

石見最大の豪族益田氏の居城、全長 600 m に及ぶ巨大な山城。

◎医光寺

境内の庭園は萬福寺と同じく雪舟の築庭。境内に雪舟を火葬した灰塚がある。

3 月 26 日(土)

青春きっぷの旅

四国丸亀城と善通寺

【集 合】 午前 6 時 50 分 福山駅改札口前 ※雨天決行
(午前 7 時 24 分 発 吉永行普通電車に乗車予定)

【参加費】 3,000 円 (会員)・3,300 円 (一般)

【募集数】 30 名程度

【講 師】 田口義之 (会長)

【主な見学地】

◎丸亀城跡 (丸亀市)

(一番小さな現存天守閣 (国重文・実は天守ではなく三階櫓) など)

◎真言宗善通寺 (善通寺市)

(真言宗善通寺派総本山、75 番札所、空海生誕地)

◎旧皆行社 (善通寺市)

(国内ただ一つ残った旧陸軍の将校集会所)

◎旧第 11 師団司令部 (善通寺市)

(乃木将軍の執務室などが残り「乃木館」として公開。前庭には陸上自衛隊の 61 式戦車、空自の F86 戦闘機などが展示)。

◎善通寺市資料館 (善通寺市)

(市内から出土した考古資料等を展示、今回の見所の一つ)

【その他】

※弁当飲み物持参、歩きやすい服装で。

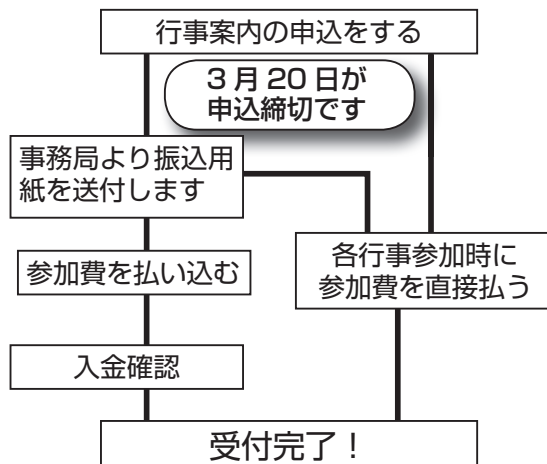
※午後 6 時半過ぎ福山駅に帰着予定です。

要
申込

前納制

今回は瀬戸内マリナーラインを利用して四国丸亀と善通寺を訪ねます。丸亀ではもちろん丸亀城跡、善通寺市では弘法大師空海の誕生地として知られる真言宗善通寺 (四国八十八箇所 75 番札所) と、旧陸軍第 11 師団司令部などを訪ねます。

申込方法は他の行事とは異なります。
入金確認後受付が完了となります。



備後歴史研究会新聞

第6号

「備陽史探訪」復刻版刊行！

新しい会員さん必見！

備陽史探訪の会会報「備陽史探訪」復刻版：というより、縮刷版ですね。今回はコンパクトにB5サイズにして会報168号(平成24年10月)～175号(平成25年12月)分を掲載してあります。

この期間に会員さんだった人は会報はお持ちでしょうが、新しく会員になられた方には、おすすめですよ☆1冊1000円にて絶賛発売中。

種本さんの郷土探訪・川筋を訪ねてのシリーズ1～5もあります。これは種本さんが実際に現地を歩かれて、地元の人々に丹念に取材されたもので、貴重な昔話などもあり！

調査報告では、北塚古墳の石材探しや、藤尾銀山の間歩の位置確認など。北塚古墳は篠原副会長を中心に参加者で草刈などして、破片探し。藤尾銀山は「進め！探検隊」の企画

で、間歩の正確な位置をGPSで確認しました。(これは、現地を知る人がだんだん少なくなり、位置を継承ができなくなった時のために場所の数値化をしたものです)

その他のものも読み応えたっぷりの郷土史の本になっています。すでに会報をお持ちの古会員さんは当時を懐かしんで、また新しい会員さんは会の歴史と郷土史を目で追ってみてください。

お求めは、草戸千軒ミュージアム(県博)内のミュージアムショップで。

また今回の印刷は「マークポイント」さんをお願いしました。同様の製本で「自分史」や「研究発表」などの出版してみようかなあとお考えの方はぜひ。相談にのってもらえますヨ。

「備陽史研究」

第24集近日刊行！

さてさて、備陽史探訪の会の論文集『山城志』は次号から新たに『備陽史研究』に改称して、第24集を発売します。

原稿の切りは毎年末ですが、論文集なので、発刊までに多少時間を要します。査読や審査やうらがありますので。原稿到着したら待ったナシのイケイケドンドンの会報とは違い

ます。

なので、もうしばらくお待ちください。1冊の価格はまだ未定ですが、会員には1世帯1冊ずつ頒布されま

すので、お楽しみに☆

もちろん！来年の原稿もすでに募集とのこと。論文・論考・研究レポート・史料紹介、郷土史に関する自分なりの調査研究や、将来誰かの研究に役立つような資料の紹介など、幅広く募集しているそうですヨ。

びんご歴史クイズに正解してぶら探訪をもらおう！

びんご歴史クイズ全問正解者に「ぶら探訪参加券」をプレゼント！6枚綴りになっており、しかも、会員・一般共通という太っ腹企画！

おひとり様で6回無料参加でもよし！会員以外のお友だちは誘って、みんなで参加もよし！

使い方は当選者次第です！

(但し、換金、転売はご容赦を！)

全問正解者が多い場合は抽選とさせていただきます。

○応募申込は

事務局宛てにハガキで応募、もしくはインターネットの公式サイトのお応募フォームから
※電話での受付はありません。

○応募締め切りは

4月10日(日)まで

4 月 2 日(土)

ぶら探訪 38

神辺宿を歩こう

要
申込

城下町、宿場町として栄えた神辺、福山の故郷と言っても良いこの街。会長に案内してもらおうと新しい発見があるかもしれません。なお、終了後、神辺城址にて恒例の「お花見」となっています。

【集 合】 午前 9 時 30 分

JR 神辺駅前 ※小雨決行

(福山駅発 9 時 6 分 福塩線府中行乗車、9 時 22 分 神辺駅着)

【参加費】 100 円 (会員) 300 円 (一般)

【募集数】 50 名程度

【講 師】 田口義之 (会長)

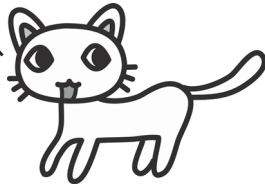
【主な見学地】

西国街道神辺宿、天別豊姫神社、古城山城址、菅茶山墓所など。

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい
服装・靴で参加。

※ 11 時半現地解散予定です。



4 月 2 日(土)

お花見

お花見 in 神辺黄葉山城址本丸

要
申込

恒例 4 月のお花見会。
今年は神辺の桜の名所！神辺城で！

【集 合】 正午より

(ぶら探訪の終了後、神辺城址に移動)

【参加費】 2,000 円

【その他】

※お弁当・飲み物 (アルコール・
ソフトドリンク他) 付き。

※雨天の場合は別会場で
開催します。



4 月 10 日(日)

バス例会

いにしえ

要
申込

神の國「神石」に古のロマンを訪ねて

【集 合】 午前 7 時 50 分

JR 福山駅北口観光バス乗り場

【参加費】 3,100 円 (会員) 3,600 円 (一般)

【募集数】 44 名

【講 師】 田口 義之 (会長)

【主な見学地】

①永聖寺 (神石高原町安田)

臨済宗永源寺派の開祖寂室元光の高弟智庵元周が開いた禅宗の古刹。智庵の石塔が残る。

②高子山城跡 (同)

永聖寺の開基宇部氏の居城と伝わる山城跡。三重の横堀を巡らした特異な構造で、南北朝時代から室町前期の山城の特徴を良く残し、山城マニア必見の城跡。

③歌の清水、御堂 (同町油木)

備後地方に多く残る四ツ堂の典型的なもので、傍らに泉が湧き、鎌倉時代西行法師がこの堂で休み、喉を潤したと伝わる。

④辰口古墳 (同町高光)

全長 77 メートルの前方後円墳で、現時点では備後最大の規模を誇る。後円部に全長 6.7 メートルの長大な竪穴式石室を持ち、4 世紀初頭の築造と考えられている (県史跡)。

⑤神石高原町立歴史民俗資料館 (同町相度)

1 階には帝釈観音堂遺跡の出土品、2 階には町内の歴史資料・民具・神石牛に関する資料が展示されている。

⑥帝釈峡「犬瀬」 (同町相度・永野、庄原市東城町帝釈)

比婆帝釈国定公園の内、今回は「神龍湖」の船着場である「犬瀬」一帯を散策する。

史跡としては宮氏が居城した「矢不立城跡」がある。

⑦その他、泉山城跡や神石大橋など、時間の許す限り探訪したいと思います。

【その他】

※帰着は福山駅北口に午後 6 時頃の予定。

神石高原は古くから開けたところで、太古の昔から人々の営みの痕跡が残されています。今回は、この神石高原の北部の史跡を探訪したいと思っています。高原上にはまだ「花の名残」があると思います。奮ってご参加ください。

この山城の備後50選2

備後南部の中心的な山城 神辺城跡

- ◎山城としての評価B
- ◎登り易さA
- ◎分り易さB

所在地 福山市神辺町
比高 約一二〇メートル
築城者 不詳（山名氏か）

城の歴史 南北朝時代、備後守護朝山景連が築城したと伝わるが、景連が築いたのは、東北一キロの古城山で、黄葉山の山頂に城を築いたのは、室町

時代中期、備後守護代山名丈休であるとする説もある。この城が備後守護山名氏の拠点の一つであったことは確かだ。山名氏の一流は、この城の旧名「村尾城」から、「村尾」氏を名乗った。



神辺城址

神辺城が大きく歴史の表舞台に登場するのは戦国時代の中期、山名理興が城主の時である。理興は初め大内氏に味方し、後尼子方に転じたことから、大内毛利連合軍

の攻撃を受け落城、毛利氏の城となり、部将の杉原盛重、毛利元康が居城した。関が原合戦後は、広島城に入った福島正則の支城となり、家老の福島丹波が三万石を与えられ入城した。最後の城主は福島正則の後、備後十萬石に封じられた水野勝成で、新たに福山城を築いたため廃城となった。

見どころ 備後南部の穀倉神辺平野に向って東から突出した尾根を大規模な空堀で断ち切り、山上を削平して城郭としたもので、山頂主曲輪から西に五段、北に二段の大規模な曲輪を築いている。各所に残る高石垣の痕跡と古瓦の散乱状況から、本来は総石垣・瓦葺の城楼建築を持つ近世的な山城であったことが確認され、石材や建物が福山築城に際して再利用されたため、現状のような遺構になったと思われる。

びんご歴史クイズ 16

- ① 備後十四郡に含まれない「郡名」はどれでしょう？
イ) 品治郡 ロ) 恵蘇郡 ハ) 高田郡 ニ) 奴可郡
- ② 毛利氏が実際攻め落とした記録が残る山城はどれでしょう？
イ) 山手銀山城 ロ) 古志城（大場山城）
ハ) 利鎌山城 ニ) 一乗山城
- ③ 江戸時代末期、福山藩内一の富豪と呼ばれた人物は誰でしょう？
イ) 河相周兵衛 ロ) 藤井与一右衛門
ハ) 延藤吉兵衛 ニ) 信岡平六
- ④ 昭和天皇の「行幸」に因む町名は？
イ) 御門町 ロ) 御幸町 ハ) 昭和町 ニ) 千代田町
- ⑤ 日本の食用「和牛」の起源とされる「牛」は何牛でしょう？
イ) 備後牛 ロ) 安芸牛 ハ) 比婆牛 ニ) 神石牛

正解者に
景品あり
4頁を見て
ネ



武者気分で 戦国山城 (山手銀山城跡) に 攻め込もう!

今年の親と子の歴史ウォークは中世史部会担当!
調査・整備を続けている山手銀山城跡を舞台に
日頃から山城跡で調査をしている山城好きの若手メンバーが
どんなウォーキングにしてくれるのでしょうか! お楽しみに!

第 34 回 親と子の歴史ウォーク

- ◇ 5月5日 (火・子どもの日) ※少雨決行
- ◇ 見学場所
山手銀山城跡
- ◇ 集合 午前9時30分 ふくやまふれ愛ランド
(赤坂町大字赤坂甲 545 福山自然研修センター)
- ◇ 参加費 大人 300 円 子ども (高校生以下) 100 円
※小学生以下のお子様は、必ず保護者の付き添いを
お願いします。
- ◇ 申込締切 5月1日 (日)
- ◇ その他
 - 弁当・飲み物は各自ご持参ください。
 - 途中に山道がありますので、歩きやすい服装・
靴でご参加ください。
 - 解散は里山広場 (弘法の水の手前の広場) で
午後3半頃に。

コロイ武者
登場!?

ホラ貝で
戦国気分!?

中世戦国
クイズラリー!



ピットボットで作ったホラ貝を吹いて
戦国山城へ攻め登ろう!
案内役は銀山城跡で活動している面々

古代史部会	中世史部会	近世・近代史部会
「古墳講座」(第367回) ◆3月26日(第4土) 午後7時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 網本善光(部会長) 【内容】「指定文化財が語る備後の歴史(その2)」 古墳から読み解く政治関係～石槌山古墳群～」 ◆4月23日(第4土) 午後7時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 網本善光(部会長) 【内容】「指定文化財が語る備後の歴史(その3)」 巨大古墳の世紀～鉄は国家なり～」 ※資料代 100 円程度が必要。	「中世を読む」(第338回) ◆3月19日(第3土) 午後2時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 田口義之(会長) 【内容】「天文日記を読む―石山本願寺と備後地方」 ◆4月16日(第3土) 午後2時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 瀬良泰三 【内容】「山手銀山城城下町の惣構えを考える」 ※資料代 100 円程度が必要。	「近世福山を読む」(第37回) ◆3月12日(第2土) 午前9時45分～ ◆福山市民参画センター ◆講師 根岸尚克 ◆内容 「幕末の阿部家重臣 斉藤氏」 江戸誠之館文武総裁を勤めた貞兵衛ほか斉藤氏の事蹟をお話しします。 (出展品あり!) 長州役に着用の陣羽織、阿部正精・正弘の軸、地券、断髪令施行時の油絵肖像画、刀ほか ※撮影する事ができます。 ◆4月9日(第2土) 午前9時45分～ ◆福山市民参画センター ◆講師 高木康彦(部会長) ◆内容 「福山城下侍屋敷―水野家臣団―」 水野家臣団の身分職制と主な家臣の事蹟を取上げ、その屋敷地と現在の地図とを照合します。 ※資料代 100 円程度が必要。

古文書講座

「古文書入門」

初回のみ

要
申込



◆3月25日(第4金) 午後7時～

◆場所 福山市民参画センター

【内容】「河本家文書」

◆4月21日(第3木) 午後7時～

◆場所 福山市民参画センター

【内容】「河本家文書」

※参加費100円が必要。

※テキスト代別途。

4月は第3木曜

日です。

お間違えなきように!

お知らせ&お願い

備陽史探訪の会の各部会の講座について、各講座につき4月より資料代として100円を戴くことになりました。よろしくご了承・ご協力ください。それに伴い、古文書講座も参加費用として100円を頂戴いたします。よろしくご了承ください。



備陽史探訪の会

【事務局】

〒720-0824 広島県福山市多治米町5-19-8

TEL&FAX 084-953-6157

E-mail info@bingo-history.net

公式サイト

<http://bingo-history.net>

会報 189 号原稿募集!

4月発行の会報189号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。3月16日(水)までに事務局編集部まで。規定は16文字×120行。(論文・論考は16文字×244行程度)